

～『縁に従うこと、縁に従って物事が生ずる』必ず新しい何かが生まれる～ 生誕100年の歴史ある商工会や地元ホテルと 連携し、姫路をいま以上に活性化させたい

今年で世界遺産登録30周年を迎える国宝姫路城。JR姫路駅直結の好立地に建ち、ホテルから徒歩15分に位置する姫路城を正面から臨むことができるのが都市型ホテル「ホテルモンテレ姫路」だ。洗練された姫路駅、そして駅前の商店街に一步踏み込むと昔ながらの飲食店が立ち並び、多くの人で活気にあふれている。平成元年、ロイヤルパークホテルのオープニングスタッフとしてホテル業界に携わり、今は姫路の地で“今以上に、姫路を活性化させたい”という思いで挑んでいるのが、営業課支配人を務める長谷川義晃氏だ。



ホテルモンテレ姫路
営業課支配人
長谷川義晃氏

〒670-0927 姫路市駅前町60
URL: <https://www.hotelmonterey.co.jp>

ホテル業界は引退後の世界がある

石原 長谷川支配人との出会いは横浜でした。当時、ホテルホリデイ・イン横浜、現在のローズホテル横浜に長谷川支配人が勤めていたときです。現在ローズホテル横浜の総支配人として指揮されている渡部氏とも同じ1965年生まれであったこともあり、同期として気が合い、今もな

お仲間としておつきあいしています。はじめにホテル業界の道を選択された経緯をお聞かせください。

長谷川 ホテル業界の道を決めたのは、ホテル業界は引退後の世界があることを父から学んだからです。父は戦前から丸の内ホテルに勤務しており、取締役役に就任。その後はオークス柏の社長に就任。ホテル業界引退後はゼネコンのホテル設計に携わり、最後は駿台トラベルの教壇にたっていました。とてもダンディでした。母も金物店を営んでおり人と接することが大好きでした。そんな姿を見てホテルマンは引退後でも限らない可能性があることを知り、私自身も父同様にホテル業界に飛び込んだ気がします。

石原 長谷川支配人のお父様がホテルマンだったとは初耳でした。なぜ、ロイヤルパークホテルに決めたのですか。

長谷川 既存のホテルよりオープニングスタッフとして働ける施設で探し、まずはメインダイニングのサービスから始めました。新規オープンということで浅草ビューホテルや当時のホテルセンチュリーハイアットから転職されたベテランぞろいの職場でした。また料理長はホテルオークラ系、宿泊はヒルトン系とさまざまな業態バックグラウンドから集まり新規開業に挑んだのです。私はホテルの現場に立つのは初めてだったこともあり、先輩たちから厳しいご指摘を受けましたが、中村裕総支配人から“Best For The Guest”というホテ

ルマンやサービスに携わる者の神髄を学べたことが、今でも大切な言葉、心として脳裏に焼き付いています。

重慶飯店「麻婆豆腐」を鍋ごと 客室に持ち込み

石原 その後、現在のローズホテル横浜に転職されたのですか。

長谷川 いったん辞めて、イタリアンのお店で働きました。そのとき、ホテルホリデイ・イン横浜の料理長に誘われ、ホテル業界にまた復帰したのです。私のモットーは『縁に従うこと、縁に従って物事が生ずる』です。お声を掛けていただいたご縁を大切に柔軟に対応することで、必ず新たな何かが生まれると思っていましたし、これまで歩いてきて実際にそうであったと思います。

石原 しかし、その後、転職されたホテルとわずかな距離にある「ホテルモンテレ横浜」に転職されました。李社長はじめ、あまりにも近い場所での転職に関わることができたか。

長谷川 私自身、ホテルホリデイ・イン横浜のときにかかわったお客さまに対して、このお客さまはホテルのお客さまなのか、私のお客さまなのか、再確認するとともに、ホテルのお客さまではない私自身の顧客をセールスの対象とすることでご納得いただいたようです。余談ですが、ホテルホリデイ・イン横浜の重慶飯店の麻

婆豆腐は絶品で、横浜でHSN（ホテル・セールス・ネットワーク）会の幹事たちで集まる際には集合場所のホテルの客室に、麻婆豆腐の入った大きな鍋を持ち込んで提供するなど、今では考えられないこともしていましたね。

石原 そうですね。ホテルのスイートルームで大きな鍋に入った麻婆豆腐を皆で食べながら、横浜エリアのホテルとして東京のホテルとどう対抗していくのかなど、真剣に話し合っていましたね。そして今は横浜から姫路へと転勤され何年目になりますか。

長谷川 5年目となります。姫路の女子バレーボール・V1リーグ「ヴィクトリーナ姫路」をけん引していた眞鍋監督がバレー日本女子監督に復帰、姫路商工会議所は100周年を迎えました。、姫路発祥の上場企業・創業100年以上の企業・世界シェアを占める企業など、多くの姫路企業や姫路の歴史を知るほどにとっても奥深く、興味深い街であることが分かりました。夜の商工会議所とも言えるお店もあり、地域との関係を構築するために顔を出し、少しずつ人脈を広げていきました。またホテル・観光施設の関係者との連携と親睦を図るために「サンモク会」を立ち上げ、毎月第三木曜日に開催しています。皆さん、ご多忙の中ですが決めた週と曜日を崩すことなくやり続けています。

後輩に恵まれ、後輩から学ぶことで成長

石原 随分、姫路の街に食い込んでいますね。

長谷川 私自身、この姫路が大好きで、姫路の活性化に向け何とかしたいという思いでいっぱいです。それだけに、まずは街になじむこと、そのためには自らで人脈の糸口を切り開いていくことが欠かせないことだと考えたのです。またモチベーショ

ン維持のために異業種の方々と触れ合うことを大切にしています。加えて『信頼の輪』の精神とお客さま第一主義に基づき、創造と革新の経営を通じて高品質なサービスを提供し、安全・安心・快適なホテルライフを提供することをモットーとしておりますので、さまざまな方と出会い、出会った方々にとって信頼いただける輪を広げることで、いつしかホテルモンテレ姫路を宿泊、宴会、飲食など、さまざまな場面でご利用いただければと思います。またこれからの若いホテルマンにも、ぜひ、社内以外の出会い、交流を積極的にしてほしいと願います。そして私自身、常に感じているのは今まで後輩に恵まれ、後輩から学ぶことで成長できたのだということですね。

石原 後輩に学ぶとはなかなかできないことです。素晴らしいことです。

長谷川 今までつねづね思うことはどのホテルでも後輩に恵まれてきたこと。先日もついついその場でスタッフに注意したところ、後輩に呼び出されて“女性にはこう言った方がいいですよ”と助言されました。その言葉は、なるほどと納得でき、次回からはそのように接するようにしようと素直に思うのです。いつも後輩・部下に育てられる気がします。



本当にありがたいことです。（ちょっと情けない先輩ですかね）

石原 長谷川支配人の寛容な姿勢と真剣に取り組んでいる姿を見て、きっと後輩が応援しているのでしょうか。最後に今後のビジョンをお聞かせください。

長谷川 大好きな姫路をいま以上に活性化させたいですね。市とともに観光振興に携わっていきたくと思います。

石原 その熱い思いがあれば姫路市長も夢ではありませんね。今後もますますのご活躍、姫路での人脈構築、そしてホテル業界の発展にも期待しております。

(株)ホスピタリティデザイン 横浜 代表取締役 石原 健氏



URL: <https://www.hospdy.com/>

〈プロフィール〉桜美林大学経済学部卒業／日本ホテルスクール卒業／ホテル産業経営塾卒業（第一期生）。ホテルセンチュリーハイアット（現ハイアットリージェンシー東京）で4年のキャリアを積み、1989（平成元）年、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの開業準備室に、第1期生として入社。開業後は主にセールスとして活動。39歳で販売担当部長となり、宿泊、宴会、婚礼、レストラン、イベント等の全ての販売を行なう。国内外からのVIPに対するおもてなしを行ない、4度にわたる皇室接遇担当の榮譽も授かる。また横浜青年会議所（JCI）のメンバーとしても活動し、2004年には100%出席賞を受賞。東日本大震災後、ウェスティンホテル仙台へ赴任、セールス&マーケティング部長として、総支配人の不在時には代行も務め、3年2カ月間復興支援の一端を担う。2014（平成26）年、(株)ホスピタリティデザイン横浜を設立、代表取締役に就任、現在に至る。厚生労働省 事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、産業能率大学 兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。